

名古屋大学模擬授業を開催しました。

- ・実施日 令和4年12月10日(土)
- ・実施場所 名古屋大学 情報学研究科棟 第一講義室

・テーマ

①『大学進学のため、高校時代に「どのように学ぶ」べきか』

宇宙地球環境研究所 年代測定研究部 小田寛貴先生

②『私たちが動かす感情のメカニズム』

大学院情報学研究科 心理・認知科学専攻 大平英樹先生(本校 S55.3 卒)

希望者の生徒38名で名古屋大学に行き、普段味わうことのできない専門的な2つの授業を体験しました。午前は宇宙地球環境研究所 年代測定研究部の小田寛貴先生に『大学進学のため、高校時代に「どのように学ぶ」べきか』というテーマで講義をしていただきました。午後は大学院情報学研究科 心理・認知科学専攻の大平英樹先生(本校 S55.3 卒)に『私たちが動かす感情のしくみ』というテーマで、生徒たちは皆、真剣に講義を受け、それぞれが講義の内容や進路、勉強方法などについて様々に考えていました。授業後には個人的に質問に行く姿も見られ、有意義な見学会になりました。

【生徒の感想】

- ・小田先生の授業では、年代測定が理科だけでなく数学、物理など、文理問わず研究に使われていることに驚いた。大学の研究では、特定の科目だけでなく、多種多様な科目を広く深く知っておく必要があると分かったため、どの科目もしっかり勉強したいと思った。大平先生の授業では、心理や、脳のメカニズムを学び、私たちのこれからの生活に生かせることができることを学べて良かった。
- ・学んだものを組み合わせて研究することを知り、受験に使わない教科を勉強する必要性を感じられなかったが大切だと思った。前頭前野は生まれつきのもので仕方のないものだと思うけど鍛えられることを知って安心した。
- ・どの話も今まであまり聞いてこないような内容で、とても新鮮で興味深かったし、これまで得ることのなかった新しい刺激を得ることが出来ました。とても楽しく、いい経験になったと思います。ありがとうございました。
- ・高校時代、多くの分野について広く深く学ぶべきだということや、感情コントロールのために必要な訓練など、今の私に必要なことを沢山学べて、充実した授業でした。興味深いことが多く、もっと色々なことを知りたいと思いました。
- ・午前の授業では、様々なことを学んで、いくつもの視点を持つという考え方で勉強してきたので、同じ考え方がこの先大事になると聞いて、間違っていないと安心しました。午後の授業では、集中力をあげるためのペンを使った方法は初めて知ったので、早速試してみます。

